



米原爆開発プロジェクト「マンハッタン計画」の関連工場があった米中西部ミズーリ州セントルイスで、広島、長崎への原爆投下から70年以上を経て地域住民に健康不安が広がっている。核廃棄物の管理がずさんで、放射性物質による健康被害が懸念されている。住民のがん発生率が高いとのデータもあるが因果関係は不明で、州や連邦政府は本格調査を始めた。(セントルイス共同＝堀越豊裕)

住民に広がる健康不安

原爆「マンハッタン計画」工場の米セントルイス

セントルイスにはウラン精製工場があり、廃棄物は40年代から発生。保管場の隣を川が流れ以前はよく氾濫した。健康被害への懸念は川の周辺住民の間で数年前から言われだし、住民運動の団体もできた。

カレン・ニゲルさん(52)が実態を知らせる。ベジをフェイスブックに開いたところ病気の報告が次々と寄せられた。「核廃棄物の関連を疑う。自分の自己免疫疾患の症

米毒物・疾病登録局は「健康被害を引き起こす被曝かを調査中。確認できれば改善策を勧告する」と回答した。報告書について日本の識者

地域では米軍が長期間除染を続けており、昨年も付近の住宅街で放射性物質の残留を確認し、地区の公園が閉鎖された。

米軍はイスラム過激派のテロ組織がイラクやシリアだけでなく、アフガニスタンに広がっているとして対策を強化している。

病気報告続々
セントルイスにはウラン精製工場があり、廃棄物は40年代から発生。保管場の隣を川が流れ以前はよく氾濫した。健康被害への懸念は川の周辺住民の間で数年前から言われだし、住民運動の団体もできた。

見解分かれる
米毒物・疾病登録局は「健康被害を引き起こす被曝かを調査中。確認できれば改善策を勧告する」と回答した。報告書について日本の識者

地域では米軍が長期間除染を続けており、昨年も付近の住宅街で放射性物質の残留を確認し、地区の公園が閉鎖された。

米軍はイスラム過激派のテロ組織がイラクやシリアだけでなく、アフガニスタンに広がっているとして対策を強化している。

戦闘員が訓練を受けた。米軍が数週間前に監視を続け、大規模攻撃のための訓練が近だったと判断した。



8日、外交政策について記者会見する中国の王毅外相(共同)

中国外相
●中国は国連安
決議を履行
●北朝鮮の核開
●関係国は朝鮮
半島の平和
●非核化と平和
●南シナ海の軍

韓国第二国船舶入港禁止
【ワウル共同】韓国政府は8日、核実験と事実上の長距離弾道ミサイル発射を行った北朝鮮に対し、独自の追加制裁の内容を発表した。日本の独自制裁と同様、北朝鮮に寄港した第三国船舶の入港禁止などが内容。韓国は既に南北経済協力事業の閉城工業団地の稼働中断などの制裁を発動している。

入港禁止措置を受け、ロシア極東沿海地方のハサンから北朝鮮北東部の羅津港を経由し、韓国に石炭を輸送する協力事業も中断する。韓国政府関係者はロシア側に通告したと説明。北朝鮮の非核化が進展すれば再開も検討できる」と述べた。

韓国政府は、日本の同様の入港禁止措置に言及し、

また北朝鮮との取引があったとして台湾やタイなど国外の6団体と個人2人を、資産凍結などの制裁対象に新たに指定。大豊破壊兵器の製造に携わったとする北朝鮮の機関や個人を含め対象は計34団体、個人43人となった。

「ウイン共同」東日本大震災から5年前に、ウインの「楽友協会」大ホールで7日、日本から来た約250人とウイン少年合唱団らが参加し、被災地の復興を願うコンサートが行われた。

「ウイン共同」東日本大震災から5年前に、ウインの「楽友協会」大ホールで7日、日本から来た約250人とウイン少年合唱団らが参加し、被災地の復興を願うコンサートが行われた。

震災復興へ「歓喜の歌」



7日、被災地の復興を願うコンサートから来た人たちとウイン少年合唱団(世界音楽合唱チャリティー協会)

「ウイン共同」東日本大震災から5年前に、ウインの「楽友協会」大ホールで7日、日本から来た約250人とウイン少年合唱団らが参加し、被災地の復興を願うコンサートが行われた。

核廃棄物の管理ずさん

状況重なる。世代を超えた影響が怖い。ニゲルさんには、1960年代まで核廃棄物の保管場があり、当時の写真を見ると大量のドラム缶が乱雑に放置されていた。

州は約600万人の州民データを基に、地域の住民20万人ががんにかかる予想値を算出し、実際の診断数を比較した。報告書によると、白血病は410人の予想値に対し実際は455人。乳がんや結腸がんも多かった。

津田敏秀教授(環境医学)は「統計的に有意な増加で、不自然な数値だ」と指摘した。東大の唐木英明名誉教授(薬理学)は「がん発生にはもともと地域差がある。直ちにがんが増えたとは言えない」とした。

地域では米軍が長期間除染を続けており、昨年も付近の住宅街で放射性物質の残留を確認し、地区の公園が閉鎖された。

米軍はイスラム過激派のテロ組織がイラクやシリアだけでなく、アフガニスタンに広がっているとして対策を強化している。

ソマリアで空爆 過激派150人殺害

【ワシントン共同】米国防総省は7日、ソマリアで5日にイスラム過激派アルシャバーブの訓練用施設を狙った空爆を実施し、約150人の戦闘員を殺害したと発表した。米軍への脅威が迫っていたと説明している。

150人の中にアバフ幹部が含まれ、かば不明。国防総省は報道部長は「市性はないう説明し、国際テロ組織アル系のアルシャバーブ1つ年に国連の支援に反対、爆弾テロなり返している。

シオン・健ヌツツ

や甲斐栄次郎さん、マナ・リボフシエックさん、名オペラ歌手も出演。は復興や平和を願う思いを胸に聞き入る。シリアから家族で月にウインに逃れ、ファット・アッバラ(38)は「魔法のように、日本とオーストラリアのつながりが、たとうつり。」「私たちはいつかシリアを建し、日本のような空にしてほしい」と話